

目次

序	森 征一	v
近代日本における「衛生工事」の進展	笠原英彦	一
——横浜水道の事例から——		
「合法性と正統性」再論	萩原能久	三
——正義と暴力のはざまて——		
バンジャマン・コンスタンのアナクロニズム批判のアナクロニズム	堤林 剣	五
——『征服の精神』におけるナポレオン批判との関連で——		
カルヴァンの「契約」論、その政治思想的含意	田上雅徳	八
ニコライ・ウストリヤロフと「道標転換」運動	廣岡正久	一一
ハイエクの社会・政治思想における理性の役割	萬田悦生	一三
《聖なる教え》としての「政治学」	柴田平三郎	一五
——トマス政治思想研究への覚書——		

実践哲学としてのコミュニタリアニズム……………	菊池理夫…	一八三
—— マッキンタイア、テイラー、ウォルツァー、サンデルの政治思想から ——		
『西洋事情』における「文明」と「進歩」……………	安西敏三…	三三
—— 福沢諭吉の歴史哲学研究序説 ——		
クリスティーヌ・ド・ピザンの『国家論』……………	矢吹久…	二四五
ラディカルな政治のスタイル……………	有賀誠…	二七三
—— ローティ、ライシュ、アンガー ——		
マイケル・ウォルツァーの寛容論……………	大澤 麦…	二九
ウイリアム・オッカムにおけるキリスト教的連帯の理念……………	将基面貴巳…	三二
レヴィナスの倫理における身体的主体……………	冠木敦子…	三四
—— その予備的考察 ——		
ホッブズの情念論とその政治的射程……………	川添美央子…	三六
鷲見誠一教授略歴・業績一覧……………		三六七